

科目 在宅ケアシステム	授業担当者 佐々木 宏幸	所属 元ウエルビューいずみ障害福祉サービス	
開講時期: 中期～後期	単位数: 1 単位	時間数: 30 時間	
授業の目的 地域という環境において、すべての人々の「暮らし(生きること)」を支えるという、看護の基本的な知識や姿勢、その根拠となる法制度と活用について理解する。			
授業の概要 暮らしはその人の生きてきた歴史や価値観に基づいていることから、1人ひとり違って人々の数だけ暮らしがあります。暮らしを知ることがその人らしさを支える看護につながると思います。本科目では、日々の身近な話題を交えて暮らしを支える制度やシステム、人的・物的資源について考えたり、ケアするということを他人ごととしてではなく、自分ごととして考えたりしながら、「暮らし(生きること)」を支えるという、看護の基本について共に学んでいきます。			
受講上の注意・事前学習の内容 学習者としての自覚をもって、ふさわしい態度・姿勢で授業に参加・受講してください。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	地域包括ケアシステムと地域共生社会①～地域包括ケアシステムの定義・多様性を尊重する時代・自分らしい暮らし方とは何か～	講義	
2	地域包括ケアシステムと地域共生社会②～地域包括ケアシステムが必要なわけ・あなたはどこでだれとどのように暮らしたいか～	講義	
3	地域包括ケアシステムと地域共生社会③～地域包括ケアシステムの構成要素・4つの助け・社会資源・地域包括ケアシステムの推進～	講義	
4	地域包括ケアシステムと地域共生社会④～地域共生社会のビジョン～	講義	
5	地域療養を支える制度①～社会保障制度について・医療保険制度の概要と給付の仕組み～	講義	
6	地域療養を支える制度②～生活保護制度の概要・公費負担医療に関する法制度～	講義	
7	地域療養を支える制度③～権利擁護について・認知症基本法・虐待防止法～	講義	
8	介護保険制度について①～制度創設の経緯・介護保険制度の概要と給付の仕組み～	講義	
9	介護保険制度について②～地域包括支援センターの概要・地域ケア会議～	講義	
10	障害のある人を支える法律①～障害とは何か・障害者総合支援法・社会的障壁の除去～	講義	
11	障害のある人を支える法律②～障害者手帳・障害年金・障害者差別解消法・ICF(国際生活機能分類)の特徴～	講義	
12	ケアマネジメント①～ケアマネジメントとその過程・ケアマネジャーの役割～	講義	
13	ケアマネジメント②～ICF 思考を活用し事例情報を整理し分析する・ケアプランの作成をイメージする～	講義	
14	ケアマネジメント③～ICF 思考を活用し事例情報を整理し分析する・ケアプランの作成をイメージする～	講義	
15	ケアマネジメント④～ICF 思考を活用し事例情報を整理し分析する・ケアプランの作成をイメージする・振り返り	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の実践 医学書院			
参考書・指定図			
評価の方法 筆記試験(100 点満点)			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります